2009 年度 PSC 事業報告　（2009 年 4 月～2010 年 3 月）

今年度の重点活動

創立 10 周年（2008 年）の到達点をスタート地点として、**「PSC 中期ビジョン 5 つの事業戦略」**にもとづき、次のステップに向けて新たなスタートを切った。

PSC が企画提案した「企業・市民・NPO コラボ 400」（名古屋開府 400 年事業）は、運営事務局として経済 5 団体を運営委員に加えるなど、「NPO と企業の協働」を推進する事業として全国的に注目された。また愛知県に企画提案した「協働事業模擬仕分けワークショップ」は、いわゆる「事業仕分け」とは違った観点からの新たな切り口で、県内市町の担当職員や多数の市民・NPO からも支持が高く、今後への期待が寄せられた。さらに、コミュニティ・ジョブ支援による「企業から NPO への流れの創出」、あいち未来塾や NPO ソーシャルビジネスによる「協働できる NPO・市民づくり」の他、中小企業の環境経営に関するヒアリングや保養所コンサルティングなど、さらに実績を積み重ねることができた。

今年度の成果と総括

「PSC 中期ビジョン 5 つの事業戦略」にそって総括する。

1．**「NPO と企業の協働推進」**事業～新規事業として上記「企業・市民・NPO コラボ 400」を展開。運営委員として経済団体 5 団体の他、NPO 支援センターとも連携し、24 講座の開催を通じ 562 名もの参加があった。2010 年度に行う協働フォーラムへつなげていきたい。

　また、CIRAC との協働による「協働アイデアコンテスト」は着実に第 4 回を実現し、「パートナーシップ大賞」は新たなしくみをめざして検討を積み重ねた。

2．**「企業から NPO への流れの創出」**事業～厚生労働省委託の「コミュニティ・ジョブ事業」を新教室（池下ピアザ）を拠点に展開し、会社しか知らなかった人たちに、NPO への理解を深め、視野と働く選択肢を拡げる有効な機会となった。

3．**「NPO 視点による CSR 支援」**事業～中部・東海地域の中小企業を対象に「中小企業における環境・CSR 推進のための実態調査」（地球環境基金助成事業）を実施し、中小企業の環境・CSR 経営のプロセスを、『中小企業の環境経営』として出版することができた。

4．**「協働できる NPO・市民づくり」**事業～昨年に引き続き「あいち未来塾」（あいちモリコロ基金助成事業）、「NPO・ソーシャルビジネス科」（愛知県）等複数展開した。新たに取り組んだ「協働事業模擬仕分けワークショップ」は、公共事業のあり方と協働への意欲について大きな意識変革を起こすきっかけとなり、２期生を迎えた「あいち未来塾」は、地域の協働をコーディネートする地域プロデューサーの育成が進みつつある。

5．**「提言活動・他団体との連携・ネットワークの強化」**～全国の NPO 支援センターが NPO 法人会計の基準づくりを会計士らと協議する場に参加。支援センター間の問題意識の共有の重要性が明らかとなった。

　センター運営としては、こうした多くの事業を展開する新たなスタッフを得、その力を発揮できるチャンスを大いに提供することができた。さらに、常に新しい企画や研究などへも目が向けられるような組織づくりへと展開していきたい。

Ⅰ．センターの主な事業

1.「パートナーシップ大賞」事業

1）第 7 回パートナーシップ大賞

<table>
<tr><td>事業目的</td><td>NPO と企業の優れた協働事業を顕彰することによって、社会や地域のさまざまな課題を浮かび上がらせ、その解決方法を示していく。
特に今回は新たな仕組みによる開催を実現し、今後とも PSC の基幹事業として持続していく途をつける。</td></tr>
<tr><td>事業目標</td><td>次年度以降の開催実現に向けて具体策を検討･展開する。</td></tr>
<tr><td>事業内容</td><td>①P 賞運営委員会の開催
4 月 19 日（日）、7 月 26 日（日）、12 月 3 日（木）、2010 年 1 月 23 日（土）、2 月 26 日（金）、3 月 31 日（水）
（委員会における検討事項等）
◆運営体制について
[協力団体・大学] 公募により決定
<table>
<tr><th>NPO 支援センター</th><th>大学</th></tr>
<tr><td>(N)杜の伝言板ゆるる</td><td>北海学園大学経営学部 菅原浩信研究室</td></tr>
<tr><td>(N)きょうと NPO センター</td><td>自由が丘産能短期大学　松本潔研究室</td></tr>
<tr><td>(N)藤沢市市民活動推連絡会</td><td>金沢大学地域連携推進センター松下重雄研究室</td></tr>
<tr><td></td><td>山梨大学大学院持続社会形成専攻長谷川直哉研究室</td></tr>
<tr><td></td><td>立命館大学政策科学部　桜井政成研究室</td></tr>
</table>
各地方紙への呼びかけも行う
◆資金調達について
・既受賞企業等への協賛金呼びかけ
・経済産業省コミュニティビジネスノウハウ移転･支援事業への応募
2010 年 3 月 1 日提出も採用ならず
･三井物産環境基金への応募検討中
◆その他
･応募料の検討
･表彰式会場予約…11 月 27 日（土）ウィルあいち
･審査員…交渉中
･募集要項、チラシ等広報ツール検討
･事前研修の概要決定へ</td></tr>
<tr><td>成果と課題</td><td>協賛金の見通しは決して明るくない。また、経済産業省の公募が不採用になったことから、資金的な裏打ちが急務となった。</td></tr>
</table>

2）事例集の出版

出稿および編集作業:

出版日程:2010 年 5 月末出版予定(「第 6 回パートナーシップ大賞」事例集)

2. コラボレーション事業

1)「企業・市民・NPO コラボ 400」　＜名古屋市委託事業＞

事業目的	名古屋開府 400 年記念事業実行委員会主催通年事業のひとつとして、PSC が企画提案を行って名古屋市からの委託により実施する。PSC は運営委員会事務局を担当する。2010 年 7 月開催の協働フォーラムに向けて、本年度は企業と NPO を対象にした協働推進のための講座をそれぞれ実施し、フォーラムのための準備を行う。
事業目標	①運営委員会の設置・運営(計 5 回) ②NPO 向けセミナーの実施(3 種類×5 カ所、計 15 回実施) ③企業向けセミナーの実施(計 6 回) ④協働コーディネート力アップ講座の実施(計 3 回)
事業内容	①運営委員会の設置・運営 運営委員／(経済団体)名古屋商工会議所、名古屋青年会議所、中部経済連合会、中部産業・地域活性化センター、中部経済同友会 (中間支援 NPO)岡崎まち育てセンター・りた、NPO 愛知ネット、ぎふ NPO センター (行政)名古屋市 開催日程／第 1 回:5 月 14 日(木)、第 2 回:6 月 16 日(火)、第 3 回:7 月 16 日(木)、第 4 回:10 月 23 日(金)、第 5 回:2010 年 3 月 18 日(木) ②市民・NPO 向け講座の実施 講座内容

	テーマ	講師
1) STEP1	協働基礎講座「NPO 組織力アップに協働が効く！」	PSC 代表理事 岸田眞代 (N)パンドラの会 代表理事　岡部扶美子氏 (N)かわせみ工房 横倉裕子氏 (N)SKIP 理事長 水野真由美氏
2) STEP2	企画力魅力アップ講座「企画にどんな魅力を盛り込むか」	株式会社ソーリス 山崎英夫氏 PSC 職員 村田正嗣 PSC 代表理事 岸田眞代
3) STEP3	プレゼンテーション魅力アップ講座「効果的なプレゼンへチャレンジ！」	株式会社ソーリス 山崎英夫氏 PSC 代表理事 岸田眞代

・池下ピアザ（名古屋市）

1) 9 月 12 日（土）／23 名、2) 11 月 14 日（土）／20 名、3) 1 月 30 日（土）／24 名

・刈谷市民ボランティア活動支援センター（刈谷市）

1) 10 月 3 日（土）／28 名、2) 12 月 5 日（土）／26 名、3) 2 月 6 日（土）／31 名

	・岡崎市図書館交流プラザ（岡崎市） 1) 9 月 19 日（土）／21 名、2) 12 月 12 日（土）／21 名、3) 3 月 13 日（土）／16 名 ・岐阜県県民ふれあい会館（岐阜市） 1) 9 月 20 日（日）／14 名、2) 11 月 28 日（土）／19 名、3) 2 月 20 日（土）／15 名 ・みえ市民活動ボランティアセンター（津市） 1)10 月 4 日（日）／16 名、2) 11 月 7 日（土）／16 名、3) 2 月 13 日（土）／15 名 ③企業向け講座の実施 中部経済同友会：9 月 16 日（水）／26 名 産業懇談会「CSR と NPO～名古屋開府 400 年祭で企業と NPO がコラボする」 講師：PSC 代表理事 岸田眞代 名古屋青年会議所： ・9 月 18 日（金）／40 名 協働基礎講座「CSR 推進に NPO との協働が効く！」 講師：PSC 代表理事 岸田眞代 ・11 月 26 日（金）／34 名 協働探し講座「自社資源と本業から協働を探る！」 講師：㈱リヴァックス代表取締役社長 赤澤健一氏 名古屋商工会議所：10 月 30 日（金）／27 名 協働基礎講座「本業を活かして NPO とコラボする」 講師：積水ハウス㈱ 環境推進部部長 佐々木正顕氏 PSC 代表理事 岸田眞代 CIRAC&中部経済連合会：12 月 11 日（金）／85 名 経営層・CSR 担当者向け講演会「自社資源と本業から協働を探る！」 講師：京阪電気鉄道㈱ 大津鉄道事業部部長 木村浩一氏 経済 5 団体：2010 年 2 月 16 日（火）／47 名 NPO との協働企画講座「協働成功のための提案づくり」 講師：PSC 事務局 村田正嗣、PSC 代表理事 岸田眞代 ④協働コーディネート力アップ講座 第 1 回　7 月 16 日（木） 講師：アイシン精機㈱ 杉田英俊氏 NPO 法人アスクネット 白上昌子氏 第 2 回 10 月 23 日（金） 講師：(N)とちぎボランティアネットワーク理事 中野謙作氏 第 3 回 2010 年 3 月 18 日（木） 講師：PSC 代表理事 岸田眞代
成果と課題	・市民・NPO 向け講座 参加者 Step1／102 名、Step2／102 名、 Step3／99 名　延べ 303 名（5 会場の合計） ・企業向け講座　参加者延べ 259 名（5 講座分の合計） ・今後は、2010 年 7 月 16 日（金）開催の協働フォーラムに向けて NPO・企業双方への働きかけが必要。協働アイデアの掘り起しを行い、マッチングを推進する。

2）あいち未来塾　地域プロデューサー形成事業

＜（財）中部産業・地域活性化センター（CIRAC）との協働事業（あいちモリコロ基金助成事業）＞

<table>
<tr><td>事業目的</td><td>地域活動のリーダー（地域プロデューサー／NPO のリーダー）となりうる人材の発掘と養成を 1 期 2 年かけて実施。人材の数的質的向上を目指し、この先 10 年を展望する。</td></tr>
<tr><td>事業目標</td><td>・募集人員（20 名）を満たす 2 期生の確保。
・2 期生･･･塾生の 8 割以上の人を対象に、本講義平均出席率 70%以上（前年 54%）
1 年目基礎実践コースによる NPO の基礎知識等の獲得
・1 期生･･･グループ活動の成果を社会に発信する。
・次年度の資金調達（あいちモリコロ基金獲得）</td></tr>
<tr><td>事業内容</td><td>①2 期生募集
募集説明会：体験講座 5 月 12 日（火）、16 日（土）
募集期間　：4 月 7 日(木)～5 月 20 日(水)
②入塾式
6 月 13 日（土）14:00～　ウィルあいち
・塾長講演:水谷研治氏「日本経済のゆくえ」
・ワークショップ：運営委員、塾生との交流
・交流会：終了後、塾長・運営委員・塾生による交流
③2 期生対象
本講義：池下ピアザ
<table><tr><th>日時</th><th>テーマ</th><th>講師</th></tr><tr><td>7 月 4 日（土）</td><td>NPO の基礎知識と
仲間づくり</td><td>PSC 代表理事　岸田眞代</td></tr><tr><td>8 月 1 日（土）</td><td>地域プロデューサーに
求められる情報発信力</td><td>中日新聞社 生活部次長
安藤明夫氏（運営委員）</td></tr><tr><td>9 月 26 日(土)</td><td>地域プロデューサーの
ための調査と分析</td><td>名古屋工業大学大学院 教授
堀越哲美氏（運営委員長）</td></tr><tr><td>11 月 21 日(土)</td><td>地域と防災</td><td>名古屋市子ども青少年局
鷲見修氏（運営委員）</td></tr><tr><td>12 月 19 日(土)</td><td>地域課題を形にする</td><td>(N)地域福祉サポートちた 代表理事
松下典子氏（運営委員）</td></tr><tr><td>2010 年
1 月 16 日（土）</td><td>NPO と社会　地域を
プロデュースする</td><td>医療法人愛知集団検診協会 会長
服部則仁氏（運営委員）</td></tr><tr><td>2 月 13 日（土）</td><td>企業市民活動と CSR</td><td>株式会社デンソーユニティサービス 顧問
面高俊文氏</td></tr></table>
サブ講義
<table><tr><th>日時</th><th>テーマ</th><th>講師</th></tr><tr><td>3 月 22 日(月)</td><td>リーダーシップと
合意形成</td><td>PSC 代表理事　岸田眞代</td></tr></table></td></tr>
</table>

2 期生対象　フィールドワーク＆合宿（犬山市）

日時	テーマ	講師
8 月 29 日(土) ～30 日（日）	行政と市民協働 のまちづくり	(N)犬山市民活動支援センターの会 「犬山しみんていの会」専務理事 川島典之氏 犬山市役所地域活動推進課 柴山はるみ氏 (N)シェイクハンズ 代表理事 松本里美氏 (N)犬山あんきにくらそう会 施設長 村田惠子氏 犬山まちづくり㈱ 取締役 渡邊昭美氏 楽田地区コミュニティ推進協議会会長 田川憲次郎氏

④1 期生対象

・グループ活動:3 グループ編成。各フィールドにて実践活動

（田舎発見隊「やろまいか」・・下川口町の地域おこし、もりづくり会議・・鎮守の森の再生・活用を中心としたまちづくり、子どもがやるっ・・学生ボランティアの育成・支援）

・活動成果発表会:10 月 24 日(土)13:30～　ウィルあいち

2010 年 3 月 6 日(土)10:00～　ウィルあいち

・卒塾式:3 月 6 日(土)14:00～ウィルあいち

⑤2 期生対象

・グループ活動相談会:3 月 6 日(土)15:30～　ウィルあいち

⑥塾生会

2 期生：7 月 4 日（土）、8 月 1 日（土）、9 月 26 日（土）、10 月 24 日（土）、11 月 21 日（土）、12 月 19 日（土）、3 月 22 日（月・祝）

各回 16:00～17:30

1 期生有志：9 月 25 日（金）19:00～21:00、11 月 18 日（水）14:00～17:00、12 月 23 日（水）14:00～17:00、2010 年 2 月 5 日（金）19:00～21:00、2 月 16 日（火）19:00～21:00、2 月 24 日（水）19:00～21:00、

1 期生および 2 期生有志 合同：10 月 9 日（金）19:00～21:00

⑦成果物

1 期生の自主活動として「成果報告書」「地域プロデューサー読本」を作成。

これまでの講義を実用的にまとめた「地域プロデューサーテキストブック「はじめよう！地域プロデュース」作成。

⑧運営委員会

5 月 29 日（金）18:00～、6 月 13 日（土）10:30～、10 月 24 日（土）10:30～、12 月 9 日（水）18:00～、2010 年 2 月 17 日（水）18:30～

運営委員：堀越哲美氏（名古屋工業大学大学院教授）、安藤明夫氏（中日新聞社 生活部次長）、服部則仁氏（医療法人愛知集団検診協会 会長）、松下典子氏（(N)地域福祉サポートちた 代表理事）、鷲見修氏（名古屋市子ども青少年局）

⑨あいちモリコロ基金平成 20 年度活動実績報告会：9 月 5 日（土）

成果と課題	・1 期生　24 名中　退塾 5 名、休塾 1 名、卒塾認定 15 名 ・2 期生　16 名中　退塾 1 名（体調不良） ・2 期生本講義出席率 86% 各回の講義アンケートで「内容が理解できた」95%、講座テーマに対する自分自身の目標達成について「達成できた」88%。以上の結果より、基礎知識の習得は達成できたと考える。 ・1 期生グループ活動参加率 42.5% 1 期生は、卒塾後も塾生メンバーにて活動を継続していくことを決定。今年度の活動を踏まえ、より地域に根差した展開が期待できる。 ・今年度助成金を獲得できなかったことにより、2 期生 2 年目カリキュラムにかかる費用の助成金申請および第 3 期生以降の運営方法の検討と助成金獲得。

3）第 4 回企業＆NPO 協働アイデアコンテスト

＜(財)中部産業・地域活性化センター（CIRAC)）との協働事業＞

事業目的	NPO から企業へ協働事業実施の働きかけの場を設定することで、NPO と企業の協働を推進する。
事業目標	・応募目標数：20 件　　・公開選考会参加者目標：100 名 ・過去の受賞者含め、複数の協働実現を目指す。
事業内容	①中部広域 9 県の NPO から、企業との協働アイデアを募集した。 募集期間：2009 年 8 月 15 日（土）～10 月 15 日（木） ②書類選考：10 月 27 日（火）　13:00～16:00　池下ピアザ CIRAC と PSC による書類審査により、プレゼンテーションを行う 5 事業を決定した。 ※審査担当：5 名（小林宏之氏、榊原元氏、岸田眞代、山崎恵美子、松橋佳奈子） ③事前プレゼン指導の実施：書類選考を通過した 5 団体に対し、公開選考会でのプレゼンに向けての相談・アドバイスなどを行った。 ④公開選考会・交流会：12 月 11 日（金）15：00～19：00　名古屋栄ビル 12 階 最終選考会では、5 団体がプレゼンテーション。審査員・参加者投票により各賞を決定した。 （受賞事業のアイデア内容は欄外に記載） ※審査員：市原兼久氏（愛知県県民生活部社会活動推進課主幹）、堀田浩隆氏（株式会社三菱東京 UFJ 銀行企画部兼 CSR 推進部部長）、水谷仁氏（中部電力株式会社経営戦略本部 CSR 推進グループ長）、小林宏之氏（財団法人中部産業・地域活性化センター専務理事）、岸田眞代（PSC 代表理事） ※同日 14：00～15：00 には、企業・市民・NPO コラボ 400（名古屋開府 400 年記念事業実行委員会主催）との連携で、同会場で協働講演会「自社資源と本業から協働を探る！」（講師：京阪電気鉄道㈱大津鉄道事業部部長・木村浩一氏）を開催した（コラボ 400 の項参照）。 ⑤フォローアップ：アイデア実現へのサポートのためのフォローアップを行った。 2010 年 1 月 14 日（木）　全国福祉理美容師養成協会（第 3 回コンテスト最優秀賞受賞団体） ⑥追加助成の決定：第 4 回コンテスト特別賞・八幡酒蔵工房に（2010 年 3 月）
成果と課題	・応募数　18 事業（17 団体）　　・公開選考会参加者　85 名 ・事前プレゼン指導の実施により、5 事業のプレゼンテーションの質を着実に高めることができ、効果的であった。今後はフォローアップなどを通して、協働事業の実現と PSC のコンサル力向上を目指す。

受賞事業

	事業名	団体名	所在地	事業概要
最優秀賞	なごや飯で赤ちゃん食育	Momstart Club（任意団体）	名古屋市	愛知県になじみの少ない0～2歳児親子向けに託児付き離乳食教室を開催。レシピ作成、地産地消と郷土食メニュー伝承を目指す。
優秀賞	知的障がい者の独創性あふれた文字・イラストの広告ノベルティーへの活用	(N)花＊花	名古屋市	知的障がい者が描く文字やイラストなどの作品を、企業の広告ノベルティーに使用。知的障がい者の経済活動を拡大するとともに、企業の社会貢献をアピールする。
特別賞	世界の都市と日本の重要文化的景観第 1 号をつなぐ PJ	八幡酒蔵工房（任意団体）	滋賀県近江八幡市	国の重要文化的景観第 1 号「近江八幡の水郷」。都心から遠くない田舎にある放置町屋や竹林、田圃等、地域資源を再生活用。エコ&グリーンツーリズムで、コミュニティ活性を目指す。
奨励賞	未来の「地球」を救う自動飲料販売機、販売事業	(N)宇宙船地球号を救う会	愛知県日進市	約 10 万人の幼稚園児を対象にした「地球の絵を描こう、コンテスト」を告知するステッカーを製作、愛知県内約 260 万台の自動飲料販売機に貼る。飲料業界関連団体と当 NPO の共通理念「子ども」「地球」を協働で PR する。
奨励賞	地産地消と新しい尾張きしめんの推進事業	(N)食・尾張プロジェクト	名古屋市	愛知県産小麦使用の「尾張きしめん」を名古屋のどこでも食べられるよう、店舗を開発展開、デパートやスーパーで販売。市民に向けて、新しいきしめんを普及する。

〈その他の応募事業〉

「福祉ボランティア育成事業」((N)西三河在宅介護センター安城／愛知県安城市)、「家庭(在宅)介護者の心身の健康を食から支えることを主なる目的とした、キッチンカー、キャンピングカー利用の支援協働事業案」((N) LET'S 食の絆／名古屋市)、「ユニバーサルクリーン活動」((N)ラルあゆみ／愛知県刈谷市)、「感謝と善意の架け橋による 隣人間ネットワーク構築事業」(助っ人クラブ中部(任意団体)／愛知県刈谷市)、「女性だけど･･･女性だから･･･」((N) Smiley Dream／愛知県知多郡)、「ガイドヘルパーボランティアネットワーク」((N)電気仕掛けの仕事人／愛知県岡崎市)、「中途障がい者のバリアフリー旅行体験事業」((N)ドリーム／名古屋市)、「早川接骨院、伊藤接骨院、木村接骨院、古川接骨院、兼定接骨院他4件」(NSK スポーツ科学協会／岐阜市)、「第１回 いのちの博覧会 in 岡崎～誕生 ありがとうのいのち～」((N)Green Heart／愛知県岡崎市)、「企業・NPO 協働 市民活動支援センター運営事業」((N)ボラみみより情報局／名古屋市)、「点滴対応衣類の普及事業」(こあら(任意団体)／岐阜県恵那市)、「人類は皆家族･･八十八家協働･･国際文化交流と食農愛智プロジェクト！」&「マザリーアース プロジェクト食農愛智 循環型農業・福祉コミュニティ 夢大地」(2 案ともに内閣府認証(N)Earth as Mother／名古屋市)

4）福祉のまちづくりリーダー養成講座 ＜名古屋社会福祉協議会委託事業＞

事業目的	福祉を中心としたまちづくりのためのリーダーを養成する。
事業目標	・受講者の確保とリーダーを発掘し具体的に事業申請や NPO の設立ができる人を育成する。 ・受講者の出席率 80%以上。
事業内容	①福祉のまちづくりリーダー養成講座の実施

10 月 27 日（火）	PSC 代表理事 岸田眞代	地域の福祉～過去・現・未来～
11 月 2 日（月）	(N)福祉サポートセンターさわやか愛知 理事長 川上里美氏	身近な福祉活動を探してみよう

<table>
<tr><td></td><td>
<table>
<tr><td>11 月 10 日(火)</td><td>(N)パンドラの会
代表理事 岡部扶美子氏</td><td>事例から学ぶ地域福祉
～過去・現・未来（障害者福祉）</td></tr>
<tr><td>11 月 17 日(火)</td><td>(N)介護サービスさくら
理事長 村居多美子氏</td><td>事例から学ぶ地域福祉
～過去・現・未来（高齢者福祉）</td></tr>
<tr><td>11 月 24 日(火)</td><td>(N)名古屋おやこセンター
理事長　竹内洋江氏</td><td>事例から学ぶ地域福祉
～過去・現・未来（児童・母子福祉）</td></tr>
<tr><td>12 月 1 日（火）</td><td>中小企業診断士
木村敏正氏</td><td>アイデアを引き出しいっぱいに
しよう</td></tr>
<tr><td>12 月 8 日（火）</td><td>PSC 代表理事　岸田眞代</td><td>想いをかたちにする</td></tr>
<tr><td>12 月 14 日(月)</td><td>PSC 代表理事　岸田眞代</td><td>個別相談</td></tr>
<tr><td>12 月 22 日(火)</td><td>中小企業診断士　木村敏正氏
PSC 代表理事　岸田眞代</td><td>事業計画発表</td></tr>
</table>
受講者数 8 名中、修了者 7 名。
②過去の受講者に対するフォローアップの実施
6 月 5 日（金）
</td></tr>
<tr><td>成果と課題</td><td>・出席率 95%。
・各自の事業イメージを具体化することはできたが、事業化にはさらに支援が必要。
・同講座が 4 年続き講座受講者数が少ないこと、実際に事業化した人が 1 名（その他 1 名が準備中）という状況から、抜本的な見直しを含め、委託元への新たな提案が必要。</td></tr>
</table>

フォロー事業

個別相談：6 月 5 日（金）シニア専用フットケアサービス足の健康について　中村真弓氏

5）協働事業模擬仕分けワークショップ　　＜ふるさと雇用再生特別基金事業(愛知県社会活動推進課)＞

<table>
<tr><td>事業目的</td><td>・NPO・行政それぞれに対し、協働に向けた相互理解の促進を図る。
・各市町が協働で実施しているモデル事業の模擬仕分けを体験することにより、セクターそれぞれの役割を理解し、協働実践への呼び水とする。</td></tr>
<tr><td>事業目標</td><td>･参加者数：第 1 段階　行政 75 名以上・NPO75 団体以上
第 2 段階　第 1 段階参加者の 7 割以上
･意識変革：7 割以上の参加者について、協働への意欲向上を果たす。</td></tr>
<tr><td>事業内容</td><td>･第 1 段階「組織と協働に関する基礎講座」
行政、NPO に分け、それぞれに対する基本理解を促進するため、愛知県内 3 ヵ所で講座＆ワークショップを開催。
①行政向け：
■講師･･･市川博美氏　（横浜市地球温暖化対策事業本部政策調査役、元長野県 NPO センター事務局長・元長野県松本市収入役）･･･前半 3 回担当
岸田眞代（PSC 代表理事）　･･･最終回担当

■講義内容＆ワークショップ･･･NPO の基本理解の確認、NPO の実態や活動の特徴、協働の心構え、各自治体から持ち寄った事業例の協働事業の可能性についての意見交換、発表等。</td></tr>
</table>

	■実施日＆場所･･･11 月 6 日（金）アイプラザ半田、11 月 13 日（金）アイプラザ岡崎、11 月 20 日（金）ウィルあいち、2010 年 1 月 29 日（金）ウィルあいち ②NPO 向け： ■講師･･･岸田眞代（PSC 代表理事） ■講義内容＆ワークショップ：NPO の社会的役割の確認、行政の特徴や限界と協働に関する基本理解･視点の確認、協働の可能性や心構えなど。各自治体から持ち寄った事業例について NPO の観点から協働事業の可能性についての意見交換、発表等 ■実施日＆場所･･･11 月 27 日（金） アイプラザ半田、12 月 4 日（金） アイプラザ岡崎、12 月 18 日（金） ウィルあいち ･第 2 段階「行政＆NPO 合同ワークショップ」 NPO･行政からなる合同グループによって、協働事業としてふさわしい事業を模擬的に仕分けし、役割分担や協働の条件などについても討議する。 ■講師…石井良一氏（㈱野村総合研究所　公共革新コンサルティング室室長、滋賀大学地域連携センター特任教授） ■講義内容&ワークショップ…事業仕分けの経過と意義、大津市での実績等、自らの活動を踏まえて講義。さらに協働事業仕分けの進め方等を説明した後、参加自治体が持ち寄った事業の中から 3 事業をピックアップして仕分けを行った。仕分けテーブルの構成は、石井、岸田両コーディネーターの他、事業持ち寄り自治体からの説明員 1 名と行政、NPO からそれぞれ 3 名ずつ選出した仕分け委員計 6 名。 ■実施日&場所…2010 年 2 月 5 日（金）ウィルあいち
成果と課題	■参加者 第 1 段階　行政向け（参加 41 名・26 市町村） NPO 向け（参加 67 名・54 団体） 第 2 段階　（参加 81 名・56 団体…行政 35 名･NPO46 名） ■協働への意識変革（アンケートより） 行政…「ぜひやってみたいと思うようになった」「やってみてもいいと思うようになった」が計 87% NPO…「積極的に取り組んでみたいと思うようになった」「取り組んでみてもいいと思うようになった」が計 72% ※協働事業仕分けについての設問では 第 1 段階の行政…「すぐにでも実施したい」が 38% 第 1 段階の NPO…「ぜひ実施してほしい」が 71% 合同 WS…「自分の市町でも協働事業仕分けを検討すべき」が 80%

6）協働型環境活動アドバイザー事業　＜愛知県環境政策課委託事業＞

<table>
<tr><td>事業目的</td><td>昨年度委託を受けた「協働型環境活動意向調査」に引き続き、今年度はさらに発展させ、ワークショップの運営等を通して、企業と NPO の協働による環境活動を促進する。</td></tr>
<tr><td>事業目標</td><td>環境活動をテーマとした企業と NPO の協働を推進するためのワークショップの運営を行う。また、ワークショップの結果を整理し、将来的な「協働」に向け展開できるような方向性を見出す。</td></tr>
<tr><td>事業内容</td><td>企業と NPO の環境活動支援及びマッチング支援のため、企業と NPO が協働のあり方や、お互いの協働の可能性について話し合うワークショップを 2 回開催。
・ワークショップは、3 つのテーマ（①生物多様性、②水環境保全、③資源循環）に分かれて意見交換等を行った。
※ファシリテーター：
①新海洋子氏（環境省中部環境パートナーシップオフィス チーフプロデューサー）
②岸田眞代（(N)パートナーシップ・サポートセンター代表理事）
③児玉剛則氏（社団法人環境創造研究センター専務理事）
【ワークショップの概要】
<table>
<tr><td></td><td>日時</td><td>場所</td><td>参加人数</td></tr>
<tr><td>第 1 回</td><td>10 月 26 日（月）</td><td>名古屋国際会議場</td><td>①19 名 ②18 名 ③14 名</td></tr>
<tr><td>第 2 回</td><td>2010 年 1 月 26 日（火）</td><td>ウィルあいち</td><td>①11 名 ②13 名 ③12 名</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>成果と課題</td><td>・実際の協働成立までには今後時間を要するだろうが、環境活動における協働への関心を高め、協働につながる可能性を見出す意味では効果的であった。
・今回 3 つのテーマを設定しワークショップを実施したが、話の中で別のテーマに移行する場面も見られた。今後協働の可能性を高めるためには、テーマ設定とワークショップの進行をどうするかが課題。</td></tr>
</table>

3. コーディネート事業

1）コミュニティ・ジョブ支援事業　＜厚生労働省委託事業＞

<table>
<tr><td>事業目的</td><td>中高年者が地域活動を行う法人・団体を就業先として積極的に選択できる環境を整備し、NPO 法人等の活動内容や働くために必要な能力についての情報不足、不安解消を図り、職業能力開発を促進する。</td></tr>
<tr><td>事業目標</td><td>・相談件数目標　480 件　（リピート含む）
・職場体験者数　240 名</td></tr>
<tr><td>事業内容</td><td>①あいちコミュニティ・ジョブセンター（ACJC）の設置
期間：2009 年 7 月 1 日～2010 年 3 月 31 日
相談受付：平日 10:00～18:00　月 1 回夜間または休日
②あいちコミュニティ・ジョブセンターHP の開設
③相談受付、コミュニティ・ジョブセンターへの登録（2010 年 2 月 28 日現在）
登録者数：229 名、相談件数：355 件
相談対応者：PSC 井上、村瀬、松本、下平</td></tr>
</table>

	④きっかけ講座・１日職場体験（センター説明会も同時開催） きっかけ講座：NPO 法人等を就業先として選択肢に加える参考となる情報を提供。 7 月 28 日（火）、7 月 29 日（水）、8 月 4 日（火）、8 月 11 日（火）、 8 月 25 日（火）、9 月 9 日（水）、9 月 17 日（水）、10 月 28 日（水）、 11 月 19 日（木）、11 月 25 日（水）、12 月 8 日（火）、12 月 16 日（水）、 12 月 26 日（土）、2010 年 1 月 19 日（火）、1 月 21 日（木）2 月 23 日（火） 講師：(N)NPO 愛知ネット理事 牧野清光氏、(N)アスクネット理事 毛受芳高氏、(N)介護サービスさくら事務局長 上島民雄氏、キャリアカウンセラー・社会保険労務士 安江美和子氏、わがやネット代表 児玉道子氏、(N)御用利きと出前授業代表 光武育雄氏、PSC 代表理事 岸田眞代、下平恵美 1 日職場体験　：活動の現場見学、ボランティア体験を実施。 7 月 9 日（日）、8 月 18 日（火）、9 月 27 日（水）、10 月 23 日（金）、 2010 年 2 月 18 日（木）、2 月 19 日（金）、2 月 20 日（土）、 2 月 24 日（水） 体験先：(N)花*花、なごや東山の森づくりの会、なごやボランティア・NPO センター、(N)福祉サポートセンターさわやか愛知、一般財団法人メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパン、認定 NPO 法人スペシャルオリンピックス日本、(N)藤前干潟を守る会、(N)まちの縁側育み隊まちの縁側 MOMO ⑤職場体験の実施 67 名（2010 年 2 月 28 日現在） ⑥事後面談、就業・起業へのフォローアップ 登録者のうちコミュニティ・ジョブへの就労者 8 名（無償ボランティア 2 名、有償ボランティア 2 名、嘱託 1 名、パート 2 名、正職員 1 名） ⑦関係機関との連絡会 11 月 4 日（水） 14:00～、2010 年 2 月 18 日（木）14:00～ 構成員：名古屋中公共職業安定所、愛知県就業促進課、名古屋市健康福祉局高齢福祉課より 1 名 ㈱デンソー総務部小山剛史氏、(N)福祉サポートセンターさわやか愛知理事長 川上里美氏
成果と課題	・相談件数　目標対比 74%。職場体験人数　目標対比 28%。 ・公共を担う社会的役割として NPO 法人等の組織の存在を知ってもらえたという点では、事業を実施した成果といえる。 ・職場体験数と希望者の意向から、就労（賃金を伴う）を前提としていることが明確。対象者への働き方の提案とともに、在職中から NPO 体験ができる仕組みなど下地づくりが必要。

2）なごや環境大学

実行委員会事務局（次長）として名古屋市から業務委託を受け、2006 年 4 月 1 日から継続実施。

3）「新春交流会」の開催

NPO と企業、PSC 会員同士の交流を深める目的で毎年行っている恒例行事。今回は「協働マッチング・ゲーム」を実施、参加者がそれぞれの立場（NPO・企業・その他）から協働に対する意見交換を行った。

日時：2010 年 1 月 25 日（月）18：00～20：00
場所：池下ピアザ
参加者：41 名（事務局スタッフ含む）

4）その他

継続及び新規のコーディネート事業を開拓する。

4. コンサルティング事業

1）保養所コンサルティング　（愛知県都市職員共済組合）

事業目的	昨年度の提案書に基づき、利用率アップのための各種コンサルティングを行う。
事業目標	・事業提案に基づく進行管理と利用率アップ。それを実現していくために職員のレベルアップを図る。
事業内容	愛知県都市職員共済組合の保養所の今後のあり方について、 ①従業員向け各種研修の実施(リーダーシップ、接客マナー、個別能力アップ等) ②事業提案に基づく改善内容の具体化(三者ミーティング) ③利用率アップをめざす進行管理とコンサルティング 上記 3 項目について、以下の事業を展開した。 ① 従業員向け研修（担当：PSC 代表理事 岸田眞代）

4 月 20 日（月）	・リーダーに求められる要件・能力（200 問チェック）による自己分析と理解促進テスト ・組織とは何か 1）個人と組織の関係、2）不満から問題意識へ ・自分の強み・弱みは何か、自分にとっての課題を明らかにする
6 月 8 日（月）	・「思いつきノート」（I ノート）の配布 ・6 月の企画経営の報告と、イベント企画のアイデア出し ・チラシ作りとその作成ポイントの確認 ・自分のやるべき仕事内容と求められる姿勢・能力（宿題シート記入）
7 月 13 日（月）	・「I ノート」の活用状況把握、各自発表とその分類 ・やるべき仕事内容（職務分掌）分担等の話し合い ・電話応対の現状把握
9 月 14 日（月）	・「I ノート」の提出、取り組み内容や姿勢の検討 ・8 月のイベントの自己評価、成果と課題の共有 ・今後の研修内容への期待とその優先順位の確定 ・内部および外部を含めコミュニケーションのしくみとポイント
10 月 5 日（月）	・これまでの振り返りと個人の能力アップのための評価基準の明確化 ・保養所にとってのステークホルダーとは誰か。 ・彼らは何を評価基準にしているのか（各自点数化）
11 月 9 日（月）	・ステークホルダーからの評価（各自申告）の共有 ・苦情に対する対応・処理（マニュアル作成）

2010 年 1 月 19 日 （火）	・経営会議（定例ミーティングその後の報告） ・田原市への提案事項 ・苦情に対する対応・処理(マニュアル作成とロールプレイ)
2 月 15 日 （月）	・2010 年度のイベント企画の内容検討（3 種） ・接客（応対係のロールプレイⅠ） ・当初課題（約 500 項目）についての現状チェック（課題シート）
3 月 15 日 （月）	・2010 年度のイベント内容の検討 ・課題シートに基づき保養所としての課題と方向性を共有する ・現状分析と課題の明確化（課題シートに基づき整理）

②三者ミーティング(主担当:渡部政喜)

4 月 16 日 （木）	施設ハード面改修・改善計画の確認、館内美化メンテナンス、広報・営業活動の基本的考え方、5 月のイベント計画の内容の検討と広報・営業活動方針
6 月 6 日 （水）	PDCA の確認、今年度の目標の確認（集客・サービス体制・施設)、前回決定事項の実行状況と現状の確認、6 月以降のイベント計画
7 月 16 日 （木）	6 月度利用客実績と 7 月の現状と予約状況の確認、5 月ゴールデンウィークイベント利用客アンケート結果の報告、7 月度研修報告、前回決定事項の実行状況と現状の確認、7 月以降のイベント計画
9 月 9 日 （水）	7～8 月度利用客実績と 9 月の現状と予約状況の確認、共済組合事務局長および組合と PSC ミーティングについて
10 月 12 日 （月）	岸田／渡部より前泊してのフィードバック、9 月度利用客実績と 10 月の現状と予約状況の確認、前回決定事項の実行状況と現状の確認、10 月 5 日の研修時に行った『ステークホールダーが保養所をどう認識、評価していると思っているか』のスタッフ認識結果の提示
11 月 18 日 （水）	現状と今後についての確認、10 月度利用客実績と 11 月の現状と予約状況の確認、前回月例ミーティング（10/12）の決定事項の実行状況と現状の確認、決定した行動項目
12 月 10 日 （木）	11 月度利用客実績と 12 月の現状と予約状況の確認、前回月例ミーティング(11/18)の決定事項の実行状況と現状の確認、決定した行動項目、12 都市の担当営業担当決定、料理の原価管理
2 月 18 日 (木)	12 月と 1 月度利用客実績と 2 月の現状と予約状況の確認、前回月例ミーティング(12/10)の決定事項の実行状況と現状の確認、決定した行動項目、利用者の累積実勢と OB の誘客について
3 月 24 日 （水）	2 月度利用客実績と 3 月の現状と予約状況の確認、前回月例ミーティング(12/10)の決定事項の実行状況と現状の確認、決定した行動項目、料理体系等の抜本的改革案検討

③利用率アップをめざす進行管理とコンサルティング

主として①②を通じて実施。この他、共済事務局へのコンサルティングを随時実施。

10 月、半期の報告書提出。3 月共済組合担当者変更。

成果と課題	施設・設備のリフォームの他、定期ミーティングをもつなど以前に比べると危機意識が生まれ、保養所職員の表情、食事内容などにも改善が見られるようになったとの評価を利用者からいただいている。利用者数は、基準となる平成 18 年度に近づいたものの、依然改善点も多く残されている。特に、リーダーの実力アップと効果的な広報・営業活動が今後の大きな課題。

2）三井住友海上「NPO カフェ・アイリス」支援

- 運営会議：6 月 9 日（火）、8 月 4 日（火）、11 月 9 日（月）、12 月 4 日（金）、2010 年 2 月 4 日（木）、3 月 11 日（木）
- 2010 年 3 月末までの約 11 年間、三井住友海上、PSC、スペイス 21 という 3 者で運営してきた。2010 年 4 月以降はスペイス 21 から社会福祉法人ゆめネットに替わり、新体制での運営になる。
- 今後は PSC としてのカフェへの関わり方をより深めるとともに、利用者数アップを目指す。

3）NPO・企業・行政各種相談等

①NPO 相談等：飛んでけ！車いすの会　4 月 11 日、12 日（組織＆運営コンサル）、(N)食・尾張プロジェクト
②公益法人設立相談等：アバンセ（定住外国人財団設立）
③企業 CSR 相談等：中部電力環境懇談会　5 月 22 日（金）、11 月 11 日（水）、
デンソーユニティサービス「CSR 報告書」第三者意見
東海ゴム工業「CSR 報告書」ヒアリング＆ステークホルダー意見
三井物産中部支社第 2 回ステークホルダー会議　1 月 22 日(金)
富士ゼロックス、凸版印刷、ネットオフ、電通（2 件）、大日本印刷

5. 教育啓発事業

1）失業者向け委託訓練「NPO・ソーシャルビジネス科」　＜愛知県就業促進課委託事業＞

<table>
<tr><td>事業目的</td><td>NPO について理解し、NPO での起業や就業、又は、企業の社会貢献分野での仕事に関心のある方等を対象にした、失業者向け委託訓練を実施する。</td></tr>
<tr><td>事業目標</td><td>・修了者の就職率 18%以上（2008 年度：28.6%、職業安定所紹介就職率　愛知労働局管内今年度平均 18.7%）。
・修了テスト（NPO に対する理解度）の平均点が 70 点以上。</td></tr>
<tr><td>事業内容</td><td>①募集と選考
募集期間：5 月 21 日（木）～6 月 3 日（水）
説明会　：5 月 26 日（火）、5 月 28 日（木）、6 月 1 日（月）　各回 13:30～
入所選考：6 月 19 日（金）10:30～　（応募者 56 名）
②訓練期間　7 月 3 日（金）～10 月 1 日（木）
訓練内容
・NPO に関する知識や CSR（企業の社会的責任）の知識などとともに、実務に即した知識や技能の習得（NPO の基礎知識、NPO の会計・税務・NPO の労務、事業計画の立て方等）。
・ ワークショップや実際の申請書類等を使った実習、パソコン研修や県内の各分野の代表的な NPO にインターンとしての実習。
<table>
<tr><td>学科
（NPO の基礎知識、事例研究、経営戦略、運営、設立実務）</td><td>NPO14 団体、中部電力㈱、㈱デンソー、東海ゴム工業㈱、市川博美氏、面高俊文氏、河井孝仁氏、小室達章氏、塚本隆氏、服部則仁氏、早坂毅氏、三品雅義氏、岸田眞代ほか</td></tr>
<tr><td>実技
（現場実習、パソコン演習、事業計画作成、就職・起業指導）</td><td>NPO16 団体
井田克一氏、木村敏正氏、岸田眞代</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

	受講者 29 名（就職活動専念・体調不良による途中退校 3 名、修了者 26 名）
成果と課題	・3 か月後就職率　19.2% ・修了テストの平均点 75.3 点。 NPO 法人を含むソーシャルビジネスを対象として、就職および起業に直結する実践型カリキュラムにて実施した。修了時のアンケートで「知識・実例・実務・実習と、予想を超える充実した内容」という回答が多かった。平均出席率は 92.9%。 ・就職率の向上には、求人開拓および就職支援の強化が必須。

2）株式会社　デンソーユニティサービス「ビジネスマナー＆マインド研修」

9 年目を迎える「ビジネスマナー＆マインド研修」。

7 月 9 日（木）、9 月 10 日（木）、10 月 8 日（木）・・・予定していた 11 月 5 日（木）は台風のため中止。

3）その他講師派遣等

行政や企業、各団体等からの要請に応えて講師を派遣する。

①4 月 11 日（土）：北海道 NPO サポートセンター「組織運営」（コーディネーター）
②4 月 13 日（月）：さわやかオホーツクネット「地方と都市をつなぐ」（講師）
③7 月 15 日（水）：愛知県愛知ブランド企業ネット総会「企業は地域に何ができるか」
④11 月 13 日（金）：とちぎ協働フォーラム in 宇都宮 「事例から学ぶ！NPO と企業との協働」（基調講演＆パネルディスカッションコメンテーター）他
⑤12 月 2 日（水）：あいち・子ども NPO センター「プレゼンテーション力」（講師）
⑥12 月 7 日（月）：全国福祉理美容師養成協会研修「マナー研修」（講師）
⑦12 月 15 日（火）：大阪ボランティア協会リンクアップフォーラム 100 回記念「企業市民活動の推進における中間支援組織の役割」（パネリスト）
⑧2010 年 1 月 28 日（木）：京都府「企業・行政・NPO～三者の協働を考える」（講師）
⑨2 月 4 日（木）：愛知県「NPO と行政のテーマ別意見交換会」（ファシリテーター）
⑩2 月 6 日（土）：岩手県北上市　みんなの地域貢献フォーラム 「より効果的な地域貢献の仕組みとは」（基調講演と総評）
⑪2 月 7 日（日）：北上市・きたかみ未来創造会議勉強会「市民参加型の指標づくりと評価のしくみ」（講師）
⑫2 月 9 日（火）：経済産業省＆NPO サポートセンター講座（講師）「企業との協働に必要な視点」
⑬2 月 17 日（水）：愛知県環境政策課・企業と NPO の環境活動セミナー「企業と NPO の協働を進めるためにー環境事例を中心にー」（基調講演とパネルディスカッションコメンテーター）
⑭3 月 3 日（水）：あいち・子ども NPO センター「ファンドレイジングを学ぶ」講師
⑮3 月 16 日（火）：宮崎県「多様な主体による県との協働のあり方」フォーラム(基調講演)

6. 調査研究事業

1)「中小企業における環境・CSR 推進のための実態調査」～人づくりの観点から～

＜地球環境基金助成金事業＞

事業目的	環境技術の人づくりという CSR のプロセスを可視化し、次世代と中小企業へ伝えていくため、現状把握、評価、情報共有を行い、改善点を提言する。
事業目標	・中小企業における CSR 推進の模範事例集の作成。 ・企業セクター別環境技術の専門分野、リスク認識、定量的分析等の実施。
事業内容	①事業説明会　5 月 17 日（日）（大阪） ②　ヒアリング調査内容検討会 検討委員：名古屋市立大学准教授 香坂玲氏＆徳山美津江氏、 面高俊文氏、岸田眞代 調査員　：シニアボランティア井上尚男氏、加藤元彦氏、高下太郎氏、日比野勝氏 取材及び執筆者：長谷川泰洋氏、鬼頭直基氏、長坂英生氏、松本佳久氏 事務局　：村瀬清和、松本真奈美 ・第 1 回：6 月 15 日（月）　15:00～17:00　池下ピアザ ・第 2 回：10 月 19 日（月）15:30～17:00　池下ピアザ ・第 3 回：11 月 16 日（月）15:30～17:00　池下ピアザ ・第 4 回：2010 年 1 月 25 日（月）　15:30～17:00　PSC 会議室 ③中小企業の CSR の実態把握 ・アンケート調査：42 社送付、回収 22 社、回収率 52% ・ヒアリング調査：18 社（うち 3 社ヒアリング非公開希望） 調査協力企業：:中日信用金庫（金融・保険）、丸美産業㈱（不動産）、㈱船橋植木（建築・土木）㈱フルハシ環境総合研究所（その他）、㈱東海リソース（製造）、㈱にんじん（卸・小売）、㈱愛農流通センター（卸・小売）、㈱エステム（サービス）、大同エコメット㈱知多事業所（製造）、㈱創建（サービス）、前田バルブ工業㈱（製造）、㈱山田組（建築）、㈱ワッツビション（製造）、港北幼稚園（教育）、マウンテンコーヒー㈱（卸・小売） ④助成団体活動報告会 10 月 17 日（土）～18 日（日）（東京） ⑤書籍出版　2010 年 3 月 31 日発刊（400 冊、サンライズ出版） タイトル：中小企業の環境経営～生物多様性の保全～ 編著者　：パートナーシップ・サポートセンター　岸田眞代 ：名古屋市立大学大学院経済学研究科准教授　香坂玲 ⑥事業報告書の提出 会計報告書：2010 年 3 月 31 日着 事業報告書：2010 年 4 月 9 日着　報告書、自己評価票と併せて書籍の提出。
成果と課題	・2008 年度、PSC が実施した「環境活動等に関する企業&NPO 協働事業の実施状況調査（愛知県）の中で環境問題に取り組む中小企業を選出（60 社）、さらに当会の会員企業の関連する中小企業を加え計 127 社を対象として選んだ。 ・ヒアリングの企業数が 15 社で定量的な調査には成りえなかったが、業種は偏ることなく、本業が環境と関わる企業、関わらない企業が調査できた。 ・アンケートのみの協力企業が 7 社、ヒアリング非公開希望企業が 3 社。 ・今回の中小企業の取り組みを踏まえ、来年度は「NPO における環境ビジネス事業の可能性に関する調査と評価」を予定。ボランティア活動からビジネス活動への可能性を探る。

7. 情報受発信事業

1）「PSC Report」の発行（奇数月 1 日発行）

Vol.	発行日	内容
65	2009 年 5 月 1 日	あいちコミュニティ・ジョブセンター紹介、2008 年度の主な事業、あいち未来塾第 2 期生募集開始、PSC 会員(NPO 法人全国福祉理美容師養成協会)紹介他
66	7 月 1 日	あいち未来塾入塾式、定時総会、コラボ 400 運営委員会報告・NPO 向け講座案内、2009 年度の主な事業、新理事紹介、NPO・ソーシャルビジネス科スタート、第 4 回協働アイデアコンテスト案内他
67	9 月 1 日	コラボ 400 協働コーディネート力アップ講座報告・NPO 向け講座募集、協働アイデアコンテスト募集開始、NPO・ソーシャルビジネス科開講中、2010 年 P 賞開催、PSC 会員((N) S－tep)紹介他
68	11 月 1 日	コラボ 400 講座報告、あいち未来塾講座報告、NPO・ソーシャルビジネス科開催報告、コミュニティ・ジョブ支援事業報告、協働事業模擬仕分けワークショップ開催案内、協働アイデアコンテスト公開選考会案内
69	2010 年 1 月 1 日	新年あいさつ、協働事業模擬仕分けワークショップ開催報告、第 4 回協働アイデアコンテスト審査結果報告、コラボ 400 講座報告、あいち未来塾講座報告、コミュニティ・ジョブ支援事業報告、新春交流会開催案内
70	2010 年 3 月 1 日	協働事業模擬仕分け行政・NPO 合同ワークショップ開催報告、コラボ 400 講座報告、新春合宿・新春交流会報告、PSC 会員(三井物産中部支社)紹介、第 7 回 P 賞開催協力のお願い、カフェ・アイリス「リニューアルカンパ」のお願い他

2）ホームページの運営＆メーリングリストの活用

新着情報の更新、「PSC Report」の WEB 公開（HP）、ML の整備。

3）各種報告書・ポスター・リーフレット等の発行

- 「第 4 回企業＆NPO 協働アイデアコンテスト」ポスター
- 書籍「中小企業の環境経営～生物多様性の保全～」（サンライズ出版）
- 「あいち未来塾」2 期生募集リーフレット、成果報告書、地域プロデューサー読本、地域プロデューサーテキストブック はじめよう！地域プロデュース
- 「企業・市民・NPO コラボ 400」募集リーフレット

8. 提言活動

1）行政各種委員としての提言活動

・なごや環境大学（実行委員）：総会 5 月 18 日（月）、幹事会・全体会議 11 月 10 日（火）、幹事会 12 月 25 日（金）、2010 年 3 月 9 日（火）

・淡海ネットワークセンター「未来塾」（運営委員）：5 月 9 日（土）、10 月 2 日（金）、中間発表会 10 月 10 日（土）、卒塾式 2010 年 3 月 7 日（日）

・名古屋市公共事業評価監視委員会：8 月 3 日（月）、6 日（木）、26 日（水）、10 月 15 日（木）、11 月 19 日（木）

・名古屋市交通問題調査会（委員）：5 月 15 日（金）、20 日（水）、2010 年 1 月 20 日（水）

・名古屋市緑化基金委員：2010 年 2 月 4 日（木）
・名古屋開府 400 年記念事業（実行委員）：6 月 3 日（水）
・名古屋市公園等指定管理者選定（委員）：7 月 24 日（金）、8 月 25 日（火）、9 月 8 日（火）、9 日（水）
・愛知県「NPOと行政の協働に関する実務者会議」：9月 29 日（火）、12 月 3 日（木）、2010 年 2 月 18 日（木）、3 月 11 日（木）
・東海市平成 21 年度東海市まちづくり協働推進事業審査員：6 月 15 日（月）、6 月 27 日（土）
・東海エコステージ研究会（理事）：4 月 21 日（火）、7 月 21 日（火）、10 月 20 日（火）、2010 年 1 月 19 日（火）
・滋賀県大津市事業仕分け（委員）：8 月 22 日（土）

2）ウィルあいち（指定管理者の一員として）
6 月 24 日（水）、10 月 23 日（金）

3）各団体との連携
・日本 NPO 学会（理事）
・社会的責任向上のための NPO/NGO ネットワーク（NN ネット）：総会 6 月 4 日（木）
・NPO サポートセンター：全国幹事会：4 月 24 日（金）、6 月 9 日（火）、7 月 14 日（火）、8 月 19 日（水）、10 月 6 日（火）、11 月 29 日（日）～30 日（月）（岩手県盛岡市）、2010 年 2 月 22 日（月）
・日本 NPO センター：総会 5 月 28 日（木）
・NPO/NGO に関する税・法人制度改革連絡会：12 月 1 日（火）（NPO 法 11 周年）
・NPO 法人会計基準協議会： 2010 年 2 月 2 日（火）
・あいち・子ども NPO センター（理事）：12 月 2 日（水）学習会、2010 年 1 月 7 日（木）理事会
・愛フェス 2009：9 月 5 日（土）、6 日（日）

4）その他
・インキュベートオフィス・・・NPO 法人 S－tep （3～7 月）

Ⅱ．センターの運営に関する活動

（1）定時総会
日時：5 月 23 日(土)13：30～
場所：ウィルあいち
内容：2008 年度事業報告の承認
2008 年度決算報告の承認
2009 年度事業計画案の審議・承認
2009 年度収支計画案の審議・承認
役員の選任（一部交替）
◆総会時に合わせて、講演会および懇親会を実施する。

講演会:「協働の理想と現実　NPO・企業・行政の協働を考える」
市川博美氏　横浜市地球温暖化対策事業本部政策調査役
（グローバル教育センター代表、元長野県 NPO センター常務理事・事務局長、元松本市収入役）
懇親会（講演会終了後、同会場にて実施）

（2）理事会

第１回　5 月 19 日（火）　池下ピアザ
第２回　5 月 23 日（土）　ウィルあいち
第３回　10 月 29 日（木）　池下ピアザ
第４回　2010 年 1 月 8 日（金）～9 日（土）（新春合宿にて開催）
第５回　2010 年 3 月 31 日（水）池下ピアザ

（3）プロジェクト委員会等

理事会とは別に、PSC の事業企画や運営等に関するプロジェクトのための委員会を設ける。
継続した企画委員会としての進展を視野に入れつつ、今年度は「パートナーシップ・コーディネーター」に関する資格制度の検討をテーマに新規プロジェクトを開催の予定だったが、実現までに至らず。
パートナーシップ大賞プロジェクトは引き続き継続。

（4）シニアボランティア会議

月 1 回の定例会を中心に、PSC の事業との連携を図る。
4 月 9 日（木）、4 月 23 日（木）、5 月 21 日（木）、6 月 18 日（木）、7 月 16 日（木）、8 月 20 日（木）、9 月 24 日（木）、10 月 22 日（木）、11 月 19 日（木）、12 月 17 日（木）、2010 年 1 月 28 日（木）、2 月 25 日（木）、3 月 11 日（木）

（5）事務局運営

原則として、毎月第一月曜日に事務局会議の定例開催。

（6）年次報告書発行

2008-2009 年次報告書の発行。